

## 第23回 ちゅうでん教育振興助成（2023年度）

### 小・中学校の部 報告書資料

学校名・団体名	鹿嶋市立中野東小学校
コース	学校支援コース
活動・研究のテーマ	落語を核とした地域とともにある笑学校づくり

#### 〈活動・研究の意義および活動報告〉

##### 1 活動に至る経緯

近年における本校の児童実態から、こどもたち同士の人間関係づくりが必ずしもスムーズに構築されているとはいえない場面が少なからず見られた。GIGAスクール構想に伴う全校児童への Chrome Book 配付におけるマイナス面【業間及び昼休みの各自での活動が増え、グループやクラス全体での活動が減少する傾向】が一因として考えられる。このマイナス面を払拭するために有効な手立てとして、児童と児童の間で直接コミュニケーションを図ることができる落語や読みきかせが重要な役割を果たすのではと考えた。

さらに、校内のみの活動にとどまらず、幼稚園との交流や地域のお年寄りとの交流を通して視野を広げ、交流を推進することにより、こどもたちのコミュニケーション力が向上するのではと考え、本テーマを設定した。

##### 2 活動・研究の目的(ねらい)

- クラブ活動等で、落語の教材を活用した練習を通して、伝える力を伸長することが期待できる。
- 落語家で大学教授の玉置氏の講話や実演を通して、コミュニケーションの重要性が理解できる。
- 総合的な学習の時間を活用して、本校児童や地域の方々に発表し、笑顔の輪を広げることができる。

##### 3 活動内容

(1) 2023年5月～2023年8月

- ・ 毎朝の読書タイムを活用して、落語の絵本を読み込む活動を行った。
- ・ クラブ活動において、落語番組「笑点」の録画を視聴し、話し方や間の取り方を学んだ。
- ・ 1年生の教室を定期的に訪問し、絵本の読みきかせを進めた。



図1 絵本の読みきかせ

(2) 2023年9月～2023年12月

- ・ クラブ活動において、好きな落語の演目を選択し、練習を重ねた
- ・ 朝の読書タイムを活用し、1～3年の各教室を訪問し、落語を披露した。
- ・ 10月24日（火）岐阜聖徳学園大学 玉置 崇教授が講師として来校
  - ア 玉置教授が落語「動物園」を披露
  - イ 児童代表が落語「寿限無」を披露
  - ウ 落語を通してのコミュニケーション力の育成について講話



図2 玉置教授による落語「動物園」披露



図3 代表児童にアドバイスする玉置教授

(3) 2024年1月～2月

- ・ クラブ活動において、落語の演目を複数選択し、互いの演技を見せ合いながら練習を重ねた。
- ・ 鹿嶋市立はまなす幼稚園を訪問し、落語及び絵本の読みきかせを披露した。
- ・ 茨城大学・五島教授から、教員養成の立場から伝える時のポイントについてご指導いただいた。



図4 落語について園児に説明する本校児童



図5 絵本の読みきかせを披露

#### 4 本実践の成果と課題

##### (1) 成果

- ・ 落語を通して、相手に伝わるような話し方、表情、そして適切な間合いの取り方を学ぶことができた。
- ・ 大学教授の玉置氏の実演及び講話を通して、児童だけでなく教員も実践的なコミュニケーション力の大切さについて理解を深めることができた。

##### (2) 課題

- ・ 4, 5, 6年を中心とした実践であったため、低学年への広がりが十分とは言えなかった。
- ・ 感染症流行のため、老人会や公民館行事への参加が困難であった。安全・安心を踏まえた上で、これからの地域の方々とのより一層の連携について、さらに工夫する必要があると感じた。